

## さくらそうに魅せられて

カメラ会社の開発に配属となり、写真を撮影しなければと、さくらそうをモデルにしたのが始まり。さくらそうに魅せられて、毎年厳寒の季節に鉢をひっくり返し、植え替え、ひたすら春の訪れを待ち、写真を撮り続けて40年、あと10年は続けたいな！

現在320種が認定品種として登録されている。私も約200種(350鉢)育てているが品種を間違いなく育て続けるのが難しく、正しい品種を写真で撮影し公開したいと思い立ちホームページで公開中。さくらそうに興味をお持ちでしたら、下記のホームページへどうぞお越しください。

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~m-a-yo/>



(南京小桜、享保年間1716作、現存する最古の品種)

荒川の原に鷹狩りに出かけた将軍が足元の可憐なさくらそうに心を止められた。この様子を見ていた共の武士が、これを育てたら！！と持ち帰り栽培を始め。直参の武士の間にさくらそう作りがはじまった。そのうちに変わった花形や花色が残され、更に種をまくことで、美しい花が作られ園芸植物として、天明～寛政(1772～1780)のころが盛んな流行期。明治維新でさくらそうは直参の武士から華族や資産家の楽しみとなり、戦後、やっと自由な空気の中で誰もが楽しめる園芸植物になった。さくらそうは芽分が増やすので、商業生産が難しく愛好家の間で綿々と受け継がれ、江戸時代の品種が残された江戸の文化遺産。



(荒川の野生種)



(紅葉川)

さくらそうは花の色、形などとても変化に富み、写真の被写体に最適な花です。さくらそうの美しさ優しさ、力強さを撮影するには、逆光、反逆光、木漏れ日を使い、光と影を演出します。

テラガーデンの写真教室では、デジタル写真の特徴を生かしカメラ画像をパソコンに移して大きな画面で楽しみながら遊んでおります、興味のある方は気軽にお越しください。

テラガーデン TEL0353897266

吉田宗昭 日本写真協会 会員  
元オリンパス カメラ開発部長